

5年 4・2 作文メモ (感想文)

3文抜き書き

- ① ところがその時、どうしたはずみか中央に行きすぎ、気づいたときには速い流れに流されていたのである。
- ② 水に流されて死んだ子供の話が頭の中をかすめた。
- ③ しかし、同時に頭にひらめいたものがあったのである。
- ④ たしかに流されているところは、私の背より深いが、この流れのままに流されていけば、必ず浅いところに行くはずなのだ。
- ⑤ 怪我をして全く動けないままに、将来のこと、過ぎた日のことを思い、悩んでいた時、ふと、激流に流されながら、元いた岸に泳ぎつこうともがいている自分の姿を見たような気がした。

1段落

- ・ 1番ふしぎだった所は、増水しているのに泳ぎに行った所
- ・ 増水していたら溺れる可能性がいつもより高くなるから
- ・ 勇気があるなと思った

2段落

- ・ テストで前に書いていた答えを消して違うのに書き直したけど、前書いていたほうがあった
- ・ とても悔しかったけどこの文を読んで直して納得して次から気をつけるほうが後悔するだけよりいいことがわかった

3段落

- ・ 図工の時間に絵の具などで色を付けるときやアイデアを考えるときに、初めはいいと思っていても後から友達のを見てみるとこうすればよかったなよ思うことが何回もあった
- ・ 後悔するんじゃなくてアイデアは無理かもしれないけど、色を付けるときにはこの色を塗ったらどうなるかを考えてつけたほうがいと次うまくできるように思った

4段落

- ・ 覆水盆に返らずというから、後悔するんじゃなくて次どうすればいいかの改善点などを考えたほうがいとと思った

題名

過去より未来を考える



